

一問一答方式による



一般質問

保育施設の新型 インフルエンザ対策



渡辺 邦信

問 感染者が発生した場合の保育施設のあり方を伺う。

市長 法令の定めにより、県として一定の方向は示すことになっており、県の対応、方針に基づいて対応すべきと思います。もう一方では、岩沼市の対策本部としての方針もあり、現時点では、保育施設等は閉所をすることに成りますが、しかし、状況によって対応も変わってくると思っております。閉所、閉園にしても、特定のところだけなのか、あるいは市内全域なのかは、そのケースによって、適切に、遺漏のないように対応したいと思っています。

緊急時の保育確保を

問 閉所した場合、一部の保育施設を指定しての緊急保育の実施をしてはどうか。

市長 インフルエンザに直接対応する医療関係者、治

安維持関係の方々の場合、一部の保育所等を閉所して預かることも、十分検討を進めています。

問 保護者が勤務する事業者への休暇等の要請について伺う。

健康福祉部長 厚生労働省が事業者団体に要請することになっていますが、岩沼市でも、商工会を通じて要請を行うことを考えています。保護者の勤務先が市外ということも大変多いので、県から要請していただくことがより効果的だと考えています。

子どもたちが夢を持ち、 将来に希望を持てる施策



布田 一民

問 後期次世代育成支援行動計画の中に、将来に希望を持てる施策を盛り込むべきでないか。

市長 夢や希望、感動を与えるような環境づくりも極めて重要です。意識しながら、次期行動計画に盛り込んでいきたいと考えています。

夢あふれる子どもに

問 学校は子どもたちが実社会を生きていくための、将来に希望を持てるような教育環境の整備が必要ではないか。

教育長 夢や希望、感動を与える活動を意図的に、学校教育あるいは社会教育の分野で進めていきたいと考えています。



夢に向かって跳躍

高齢者支援



長田 忠広

案を期待し、計画づくりに役立てられればと思います。なお、行動計画の中に盛り込みつつ、行政全体としても、子どもたちの夢・希望がはぐくめるようまちづくりの力を入れてまいります。

問 75歳以上の高齢者のみの世帯や障害者のみの世帯を対象に、ちょっとした困りごと、例えば高い所の電球の交換とかに対応する「高齢者困りごと支援事業」を創設してはどうか。

市長 担当課でいろいろ検討してきたわけですが、現段階では、「高齢者困りごと支援事業」の実施は難しいと思います。地域包括支援センターを総合相談窓口として、支援・充実をしていきたいと考えています。

問 65歳以上の高齢者が、介護支援ボランティアをしたときに、活動実績に応じ